

に書く等は到底時間の許さざる所なれば必らず全生徒をして十分観察せしめ得らるゝだけの大きさの圖を備へざる可らず然れども勿論之のみにて説明するを以て満足せず教師は多く時間を要せざる範圍内に於て圖を書くの要あるなりこれ掛圖は結極死物を免れざるを以てなり裁縫科の如き技術に屬する教材にありては説明に要する時間はなるべく節し生徒をしてより多くの實習時間を持たしむるやう心懸く可く生徒をして筆記に時を費さしむるが如きは適當の處置といふ可らずむしろ適當なる教科書を用ひしむるを可とす若し適當なるものなきに於ては之を謄寫して配附するも敢へて難事に非ざるべし時間の貴ぶべきを知らしめ眞面目に作業せしむるの習慣を得しむるには最良の一教科たる可ければなり

#### 教室、

教室は採光に十分注意せざる可らず若し光線の射入宜しからざる時は視覺を害し姿勢を枉げ其他身体上に及ぼす影響は實に大なり廣さは机の大き及び數に應じ廣狹を定むべしあまり廣過ぐる時は後方なる生徒の視力を害する事夥しければ机の大き等は大に斟酌せざるべからず生徒用机はあまり高からざるをよとす手を机の上に置くにゆるやかに置かるゝを度とし布帛を膝上に載せざるやうにし十分に机の下に膝を入れ裁縫品の墜落を防ぐべし机には下に棚を設くるを便利とす綿入等の際針箱等を置くべき用に供す塵埃の止まらざるやう棚とすべし尺度鋺等は机

に附屬するを便利とすべし共同に置く場所より取出す等は大に混雜を來し易ければなり懸針は又大に研究すべきものあり前にし向側にし或は中央に穴を穿ちてなすもありいつも得失ありまつ比較的宜しかるべきは机の中央部に細き木を倒し置き机の平面と等しくなし使用の場合には之をたてゝ用ふる如くせば可なるべしなほ別に使用の際とり附くるもあり、教師用机は十分其上にて標本等につきて説明なし得るだけの廣さを要す引出しは便宜によりて附すべし説明に要すべき布帛等隨時取り出すの便あるを可とすべし生徒用腰掛は大に姿勢に關係あるを以て十分構造に注意すべし腰掛は五寸許りの後がゝりあるを用ふべし

而して机の下に入れらるゝ程の高さとすべしそは綿入れ等の際机を合せ用ふるを以て腰掛の邪魔にならぬやう机の下に入るゝやう作るをよろしとす

其他種々なる備品につきては研究事項多ければ猶進んでこれが改良進歩をはからざるべからず

#### 造花に付ての一端

津田福子先生

造花の技能は一寸習ひ候へば直に出来るか如く見え申候、されど之を造花の本領に適ひ候様になす事はなかく、困難の業に御座候、造花は縦ひその形のみがなしとげられ候ともそれにて造花の

能事終れりと申すものには御座なく色と形と相まちて且つ趣味を感せしむるに足るべき作にあらざれば只今の造花とは申されず候。かゝる造花をなすには如何にしてもまづその植物の性状に通じ色の配合、形体、比較、醜美、構造等の各部の研究をなし常々是等に付て細密なる観察をなして腦裡に收め時に筆寫して一層明確なる思想を貯へ又内外の作品につきて之を鑑別審査し其精を綴り華を抜き融化混合幾多の手法を試みて巧に技術上に表現し自己の理性と美化によりて初めて造花たるを得るものに御座候。

造花は實に纖巧細微なる技術にして古くより用ゐられたるものに候へどもその技能は未稚くして殆美術品と申べきものはこれなく候ひしも歐米より傳來せし新しき造花術を用ひし以來大にその進歩發達を見單に身邊の裝飾のみならず又室内裝飾として大にその技を賞歎し美術工藝上主要なる位置を占むる様に相なり申候抑も造花といへば直に寫生的のものをいふが如く御座候、然し造花と申し候てもその種類種々にて寫生的造花もあり、又作意的造花もあり、また盆栽科に屬するものもこれあり候、寫生的造花は固より大切なるものにて最も基礎となるものに候へども作意的即ち自己の創作によりてなすものも亦甚だ趣味深きものに御座候、即ち普通造花法は畫に於ける臨畫の如くにして他のものは寫生圖案に相當し、培栽科は恰も山水畫に格適するものに御座候。今や造花は往昔の比にあらず花、葉、莖、幹細密なる技術によりて精緻優秀の作を出すに至り造

花術の様に相なり申候。

もし造花の道に意を拂はゞ尙造花の樂園に遊ぶが如くに候、自然を研鑽また研鑽し遂にその寶庫の鍵を捉へ天工を奪はんとすこの技を收めこの妙を得るに於いては又造花術といふも不可なかるべく候。

近來女子教育日に月に隆盛を極め又實技教育に漸く眼光を注ぐに至り既に文部省に於いては特に茲に留意し近く實科女學校の創設を企圖し爲めに婦女子は最も適應の教育をうくる事を得諸般の技藝を解し優美なる趣味を滋養するを得申候、特に造花の如きは之に關係する事至大にして趣味養成上功果の著しきものと申すべく候、實に趣味の如何は人格上大に影響を及ぼすものにして其の高低深淺はまた人生の幸不幸に關すること少からず候、物を美しくなす人、物のとり扱の上手なる人、ものを整頓する人、物の仕末のよろしき人、時間の使用法に巧なる人、倦ますよく勸むる人、作業に他念なき人一々詳しく擧げ候はゞなかなか澤山御座候、これ等の何となく奥床しき低の人はまた造花の道によりて旁々修養せらるゝ副産物に御座候、尙細かき事は機會を得て申上ぐべく一寸造花に付て片端のみを申上げ候。